

平成30年度第1回 瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会

通常事業事前審査 議事録

日 時：平成30年4月23日 午後6時30分から午後8時30分

場 所：瑞浪市役所西分庁舎 1階会議室

出席委員：渡邊 勝利（委員長）、山内 正雄（副委員長）、逸見 企代江、
上田 小夜子、後藤 誠一、田中 恵子

欠席委員：なし

※ 委員6名中6名の出席であり、委員の過半数の出席となり、瑞浪市夢づくり地域
交付金等事業審査会規則第6条第2項の規定により、本会議は成立。

事務局：瑞 浪 市 長 水野 光二

事務局：まちづくり推進部長 景山 博之

事務局職員：市民協働課長 兼松 美昭

事務局職員：まちづくり支援係長 横井 宏之

事務局職員：まちづくり支援係 小木曾 匡洋

次 第：

1. 市長あいさつ
2. 審査委員長あいさつ
3. 審査会の進め方について（事務局）
4. ①審査（各地区からの事業説明）
②意見交換
5. 市長講評
6. 事務連絡
7. 閉会

【次第1 あいさつ（瑞浪市長）】

平成30年度瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会にご出席賜りありがとうございます。

日頃から地域の活性化・課題解消に対し格別なご尽力をいただき、厚く御礼申し上げます。

先日、大湫町のパターゴルフ大会にお招きいただきました。冒頭の会にて、各区長さんが参加者の前で紹介され、そのあいさつの中で、自身の区への移住者の紹介がされました。その場で紹介された人数だけでも6～7名が紹介され、後で確認したところ、15名程の方が移住され、一方で転出されたのは4名ほどとのこと。大湫町は、他地区と比較すると人口は300名ほどですが、10名を超える方が転入されてきております。割合にするととても高く、これも大湫町の様々な取り組みが成果となっていると感じました。皆さんの地区でも人口減が課題となっているかと思いますが、地区の魅力をもっと発信していただき、移住定住の促進につながればと思います。

まちづくり活動は地域の活性化のみならず、課題解消について、特に各地区のほぼ共通の課題となっている人口減に対しての独自の活動にもぜひとも取り組んでいただき、一人でも多くの方を招き入れていただきたいと思います。

今年度は、通常事業に加え、瑞浪・釜戸・明世・陶の4地区がチャレンジ研究室からの提案事業を実施していただけるとのことです。ただ、残念なことにステップアップ事業の申請はありません。場合によっては大きな予算が必要となる事業があるかと思いますが、ぜひ積極的にご活用いただきながら、地域の活性化に取り組んでいただければと思います。

本日の審査委員の方々との意見交換で出される意見等については、可能な限り事業に反映していただき、よりよい事業を実施していただきたいと思います。

今年も一年、まちづくり推進組織の皆さまにはお世話になることと思いますが、よろしく願い申し上げます。以上あいさつとさせていただきます。

【次第2 あいさつ（渡邊委員長）】

本日は、それぞれ8地区から発表していただけるということで、活動計画が妥当なものであるかどうか、審査させていただきます。不慣れではありますが、皆様のご協力によりスムーズに議事を進行していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

【次第3 審査会の進め方について（事務局）】

《審査会の進め方について説明》

～意見なし～

【次第4 ①審査（各地区からの事業説明）】

《各地区からの事業説明》

【次第4 ②意見交換】

陶町明日に向かって街づくり推進協議会（以下「陶」）

○委員 防災減災セーフティネット事業

高校生と協力する事業は素晴らしいと思います。ぜひ、今後も継続性のある事業としていただきたいです。

○委員 文化振興事業

文化振興事業中のミニコンサートと落語会について、出演者の謝礼報償費が、それぞれ2万円、35万円と差があります。特に35万円という費用は高額かと思いますが、内訳等はどのようでしょうか。

●陶

ミニコンサートは、まちづくりの総会前に行うものです。出演者もアマチュアであり、費用の一部は、総会費用の中に組み込んでおります。一方、落語会については、プロの落語家へ依頼するとともに、交通費やプロモーター（販促等）費用も組み込まれております。

○委員 交流人口拡大事業

アプリケーションSUEについて教えてください。

●陶

我々、陶のまちづくりが発足して、今年で満32周年となります。アプリケーションとありますが、発足時は、「あっぷりけ」の発想で、小さなものの積み重ねでまちの活性化をさせよう、との思いで活動されてきました。現在は、まちづくりの広報誌のタイトルをアプリケーションSUEとしています。

○委員 交流人口拡大事業

HPの現在のアクセス数はどのようでしょうか。

●陶

後ほど回答します。（事務局確認：4月26日現在で20,748件）

○委員

SNS等のスピーディな情報発信にも目を向けられるとよいかと思えます。

明世地区まちづくり推進協議会（以下「明世」）

○委員 あきよウォッチング事業

チャレンジ研究室提案事業の「チケットランドwith子ども会社」について、もう少し詳しく教えてください。

●明世

あるエリアの中に出店を募り、子どもたちが売り子として店頭立つ事業です。子どもたちの社会勉強に加えて、親世代の参加も見込める事業となっております。近年、あきよウォッチング時における出店の出店者も減ってきており、少しでも活発になればとも思っています。

○委員 **自己財源事業**

まちづくりアンケートについて、どのような内容で実施されたのでしょうか。

●明世

まちづくり活動について、地域の方々がどの程度認知してみえるのか、どのような事業にニーズがあるのか、できるだけ率直な意見がもらえるような項目を6つ作りました。

○委員 **あきよウォッチング事業、防犯・防災事業、ウォーキング事業**

各事業において、参加者記念品等を配布する予定とのことですが、具体的にどのような物を想定してみえますか。

●明世

これまで配布した記念品として、ランタンや懐中電灯、笛といった防災グッズが中心となっています。

日吉町まちづくり推進協議会（以下「日吉」）

○委員 **特産品開発事業**

加工製品を活用した、レシピの考案はしてみえますか。

●日吉

まだ、その段階まで到達しておりません。特産品の開発のみとなっています。

○委員 **特産品開発事業**

椎茸の1年間の収穫量と売上金額を教えてください。

●日吉

平成29年度の収穫量は、406kg（春314kg、秋92kg）です。売上は、53万4千円となっております。内訳として、きなあつ瑞浪にて13万4千円、公民館他にて38万円、ふるさと納税が5件で2万円となっております。

○委員 **特産品開発事業**

売上金の具体的な用途はありますか。

●日吉

当まちづくり組織は財源に乏しく、特産品開発のみに充当することはできません。我々の事業において、包括的に使用しております。

○委員 **日吉町活性化事業**

天神窯は1年に何回焼かれますか。

●日吉

2年に1度、11月の勤労感謝の日に合わせて焼成を行います。

大湫町コミュニティ推進協議会（以下「大湫」）

○委員 本陣山登山道整備事業

このコースの総延長はどのくらいでしょうか。

●大湫

およそ、2.5 km程度になるかと思われます。ただし、現在は未整備の箇所も多々あります。

○委員 本陣山登山道整備事業

HPの閲覧数について、現在の実数はどのくらいでしょうか。

●大湫

後日、改めて報告いたします（事務局確認3月末日時点41,571人）。

○委員 本陣山登山道整備事業

今回の事業は、目的や対象（ターゲット）をどのように設定していますか。

●大湫

コース的には、易しい作りとなっておりますので、幅広い世代に親んでもらえるかと思えます。また、歴史的な観点や、自然観察にも向いており、市外からの集客も見込んでいます。

○委員 本陣山登山道整備事業

来訪者のニーズを掴む工夫も併せて検討してください。

●大湫

HP等を活用し、検討したいと思えます。

釜戸町まちづくり推進協議会（以下「釜戸」）

○委員 かまど日曜楽市“狐と河童と竜の市”事業

狐や河童を用いたキャラクターは非常に面白いと思えます。新たなキャラクターに期待したいと思います。

○委員 かまど日曜楽市“狐と河童と竜の市”事業

特産品の開発について、具体的な案があれば教えてください。

●釜戸

特産品開発については、夢づくり交付金事業に加えて自己財源事業として、町民に対し最大10万円の助成金を交付する予定があります。具体例として、「カップのキュウリ3色漬け」、「びっくり白狐うどん」、「釜戸カップ焼き」等を考えております。長期的視点から、釜戸に道の駅ができた際の特産品として売り出すことができるよう準備を進めたいと考えております。

明日の稲津を築くまちづくり推進協議会（以下「稲津」）

○委員 文化・芸術・スポーツ推進事業

まちづくりイベントについて、具体的にどのようなイベントか教えてください。

●稲津

例年年末に実施しております。年によって内容は様々ですが、およそ隔年でクリスマスイベント、他には寄席を行ったこともあります。

○委員 まちづくり情報発信事業

SNS等を活用した、即効性や拡散性のある情報発信も検討されてはいかがでしょうか。

●稲津

HPの閲覧は、パソコンだけでなくスマートフォン仕様にもなっています。手軽に情報を受け取ってもらえるよう検討します。

○委員 まちづくり情報発信事業

まちづくり新聞について、紙面の大きさと配布状況について教えてください。

●稲津

まちづくり新聞は、年2回、A4版で4ページ分（A3両面刷りにて）全戸配布しております。1回目は総会終了後、2回目は年明けに配布をしています。特に総会終了後は前年度決算を中心に、年明けは事業の報告や活動団体の紹介を中心にしています。

土岐地区まちづくり推進協議会（以下「土岐」）

○委員 青少年育成事業

ボランティアについて、高校生の参加は検討されてみえますか。

●土岐

町内に高校が2校あるため、現在は検討中です。高校生提案のチャレンジ研究室事業も検討しましたが、調整がつかなかったため、未定となっています。

○委員 あんしん事業

防災運動会には関心しております。今後もぜひ継続していただきたいです。

●土岐

メニューも工夫しながら、今後も展開していきたいと思えます。

瑞浪地区まちづくり推進協議会（以下「瑞浪」）

○委員 地域の交流を活発にする事業

芋煮会の鍋はどのようなものを使用されているのですか。

●瑞浪

大鍋を2つ使用して350名に振る舞います。

○委員 **地域の交流を活発にする事業**

瑞浪地区はとても広いかと思いますが、芋煮会はどちらの会場で行いますか。

●瑞浪

瑞浪地区は、小田・山田・寺河戸の3地区から構成されておりますが、芋煮会は山田地区で行われています。神社の下に小さなグラウンドがあり、そこを借りて行います。

《審査委員長コメント》

本日申請していただいた事業は、どれも素晴らしいものでした。各地区におかれましては各委員からのアドバイス等を取り入れられ、よりよい事業として実施していただければと思います。

【次第5 講評（瑞浪市長）】

本日の発表、大変お疲れ様でした。限られた時間の中での発表ということで、説明が不十分になってしまったところもあったかと思いますが、今年も素晴らしい事業に取り組んでいただければと思います。

まずは、これまで培っていただいている事業について見直し等を行っていただき、更なるバージョンアップをみせていただきたいと思います。また、積極的に新規の事業に取り組まれる地区や、チャレンジ研究室提案事業を採択された地区もありました。これまでの事業に囚われることなく、若者が考案した事業をうまく取り入れていただければと思います。

本日発表していただいた地区の中に、コミュニティビジネスに挑戦してみえる地区がありました。自分たちで特産品を開発し、販売することで、更に予算化し事業を拡充してみえます。将来の展開に期待したいと思います。

この他にも関心した点として、多くの地区が、関連する他団体と連携して事業に取り組んでみえることがありました。他団体からの提案等をうまく取り入れられながら、更に自分たちの地区の活性化に繋げようとする姿勢は素晴らしいと感じました。今後のまちづくりを展開するうえでのヒントになっているかとも思います。

決して、常に新しい事業に取り組むことを求めている訳ではありません。今ある事業を定着させていただき、見直し、拡充していただくことが第一だと思っております。そこで見えてきた新たな課題に対して、解消に向けた事業を展開していただくことが、次の展開になるかと思えます。

最後に、ぜひステップアップ事業への取り組みも検討していただくとともに、本日発表していただいた事業が大きな成果を生むことを期待して、講評とさせていただきます。

【次第6 事務連絡】

《事務局より事務連絡など》

【次第7 閉会（まちづくり推進部長）】

以上